



令和7年度

宮城県立名取支援学校 グランドデザイン

学校教育目標

児童生徒一人一人の心身の発達、能力・特性に応じた教育を行い、その可能性の伸長に努め、健康で人間性豊かな人間の育成を目指す。

日本国憲法
教育基本法 学習指導要領
第2期宮城県教育振興基本計画
宮城県特別支援教育将来構想
(後期)

目指す児童生徒像

- 1) 元気で明るい児童生徒
- 2) 自分のことが自分でできる児童生徒
- 3) 仲よく助け合う児童生徒
- 4) 進んで学ぶ児童生徒
- 5) 喜んで働く児童生徒

児童生徒の実態

保護者・地域の願い

学校経営方針

教育公務員としての崇高な使命を自覚し、絶えず研究と修養に励み、教職員相互の信頼を基盤に、将来の自立と社会参加へ向けた心身共に健やかな児童生徒の育成と、魅力ある学校づくりのために、全力を挙げて職責の遂行に努める。

【魅力ある学校】

- ・児童生徒にとって わかる、できる、わくわくする学校
- ・保護者にとって 安全・安心で、信頼できる学校
- ・教職員にとって 同僚性・協働性があり、指導に力を注げる学校
- ・地域にとって 地域に開かれ、地域とともにある学校

【目指す教師像】

- ・児童生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす
授業づくりに勤しむ教師(授業力)
- ・児童生徒の成長を願い、児童生徒の良さを認め伸ばす教師(生徒指導力)
- ・特別支援教育の専門性、指導力の向上を目指して常に学び続ける教師(自己研鑽力)
- ・同僚と協力し、保護者、地域、関係機関と連携・協働する教師(学校を支える力)

学校経営の重点努力目標

1) 学習指導要領を踏まえた 教育課程の編成と実施

- (1) 将来の自立と社会参加へ向けた「生きる力」の育成
- (2) 育成すべき資質・能力(三つの柱)を意識した授業の実施
- (3) 各教科を意識した系統的な指導と学習評価(3観点)の充実

2) 特別支援教育の専門性と 指導力の向上

- (1) 学部を越えた学び合いの充実と職員間の連携
- (2) 個々の教員のニーズに応じた研修の実施

3) 保護者や地域・関係機関と の協力・連携の強化

- (1) 学校・保護者・PTA・関係機関との包括的な連携・協力
- (2) 学校運営協議会と連携した学部の特色を生かした地域との関わりづくり

4) 安全・安心な学校づくり

- (1) 地域と連携した安全・安心な学校防災体制の強化
- (2) 緊急時対応訓練の実施内容、方法の充実
- (3) 児童生徒及び職員の事故防止に向けた対応力の向上